

ベラルーシ公開情報取りまとめ
(10月8日～10月14日)

2019年10月15日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、独立国家共同体(CIS)首脳会談に参加(10/11)
- ルカシェンコ大統領、国際会議「ミンスク対話」に出席(10/8)
- 世銀、ベラルーシ経済成長の鈍化を予測

大統領動静

- 独立国家共同体(CIS)首脳会談に参加(10/11)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・戦略的経済協力に関する宣言の必要性が高まっている。世界で起こっている出来事は、自立性のある、効果的な連合としての CIS 強化の客観的な必要性が差し迫ってきたことを示している。経済は我々の協力の基礎である。上記宣言は、CIS 各国の経済潜在力の結集、製造分野での協力、貿易における結びつきの深化への意欲を再確認するものである。
- ・経済に関する最も重要な課題は、完全なる自由貿易圏の形成である。我々はサービスの自由貿易に関する合意書作成の早期完遂に関心を持つ。しかし専門家レベルにおける合意書準備作業に遅れが生じている。期限を設けるのは極めて合理的である。
- ・来年は、大祖国戦争勝利 75 周年である。当時、ソ連の人々は自身の民族的帰属を考慮することなく、統一されていた。
- ・ウクライナの新政権への支持を要請する。ウクライナ国内で新政権を転覆させようとする傾向が見られる。新政権が倒れた後、愛国主義とも異なる“温床”が発生する可能性もある。我々は旧ソ連圏で起きていることを見ていく必要がある。
- ・ウクライナは、CIS を脱退すべきでなかったと考えている。私(ルカシェンコ大統領)は、ポロシェンコ前大統領には、脱退しないように説得していた。
- ・旧ソ連圏における紛争の共同解決を要請する。かつて一緒に居て、共に戦っていたのに、旧ソ連圏内でいくつもの紛争が起きている。我々が何かをできるのであれば、これらの問題を解決しようではないか。
- ・安全への脅威が人類を支配し、またその数は増加

している。その原因は、国家間の信頼の失墜にあると見ている。最大の問題はテロリズムである。どんな国であっても、一国だけではテロリズムとは戦うことはできない。成功への鍵は全てのレベルにおける密接な協力であり、テロリズムや過激主義との戦いにおける CIS 参加国の協力は非常に必要とされている。

- ・ハイブリッド戦争にも注目する必要がある、CIS としてサイバー空間におけるテロリズムの脅威に対抗するための合意書の策定を要請したい。
- ・中距離核戦力全廃条約の撤廃後、欧州大陸における武装の可能性が高まってきた。欧州における中短距離ミサイルの非設置に関する合意書の作成を提案したい。
- ・数ヶ月後に控える東欧における NATO の大規模軍事演習に懸念を持っている。プーチン露大統領と私は、この期間どうやって安全を守るかを考えざるを得なくなる。同演習への参加者は約 3 万人と聞いている。少ない数ではない。

(10/11 大統領府公式サイト)

- ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領と会談(10/11)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・我々には、必ず実現していく非常に良い計画がある。我々は、両国関係の基礎を築いてきた。沢山のことを成し遂げた。
- ・今後、両国で完遂する必要のあることが多くあるという点において、貴方を支持する。

ベルディムハメドフ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・両国民は非常に勤勉であり、友好的である。

(10/11 大統領府公式サイト)

●国際会議「ミンスク対話」に出席(10/8)

全体会合におけるルカシエンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・国際問題には新たな挑戦が増加しており、それらの挑戦への適切かつ適時な回答の模索は、専門家にとって、そして我々政治家にとって最重要課題の一つとなっている。最近ベラルーシで開催された情報安全や人身売買、テロリズムに関連する国際フォーラムが、この事実を物語っている。またそれは、対話の舞台としてのミンスクに対する西側および東側からの関心の高まりを示している。

・我々は、大国同士の戦略的な競争の新展開の目撃者である。貿易戦争や制裁的な対立が加速している。資源確保のための対立が激化している。中東、アジア、ラテンアメリカでの数多くの紛争は解決されていない。国連や安全保障協力機構は、関係説明の場となっており、問題解決の場となっていない。

・中距離核戦力全廃条約の失効後、核戦力管理様式の破壊プロセスは最終局面へと入った。もし関係国が同条約の延期に合意できない場合、2年後には、核戦力分野の関係は、調停不可な状態に陥ってしまうであろう。

・理想的には、協力に基づいた欧州の安全、ヘルシンキ宣言やパリ憲章の価値観への回帰が必要である。ベラルーシは、独立と主権を得た瞬間から四半世紀もの間、安定への支援者であり、欧州、そして国際安全の提供者である。

・ベラルーシのような中小国が欧州におけるヘルシンキ宣言の精神の復活に貢献できる。これらの実現は、ロシアやEU、アメリカ、中国といった大国にとっても利益がある。

・欧州安全において鍵となる問題は、ドンバスにおける紛争の解決である。今もなお、兄弟国であるウクライナの地で人々は命を落としている。社会的、経済的、人道的混沌の沼地から抜け出せていない。

・先日、ジトミールでゼレンスキー・ウクライナ大統領と会談を行った。欧州の問題の解決を願う責任能力

のある政治家であり、強い愛国者であった。我々は彼に恐ろしい荷物を負わせている。キエフでは、新政府、新大統領を圧するために特定の力がこのプロセスを活用しており、欧州は沈黙している。それぞれ自身の関心のために、この若い大統領に向けて石を投げている。

・戦争はウクライナだけではなく、我々の下でも起きている。我々がこの問題を解決する必要がある。ノルマンディー4カ国が何らかの価値を有しているのであれば、既に集まって、何かを決定していた必要があった。問題を解決すれば、これまでの対話に意義があったことになる。既存の合意の履行を管理する仕組みの始動を強く保証することが結果になるtp期待している。そして、米国なしでウクライナにおける紛争解決は訪れないであろうという自身の考えを隠すつもりはない。

・世界の、そして欧州の正常化に特效薬はない。冷静で、実務的、そして平和的な対話こそが、勝者のない国際紛争という崖から離れる唯一の方法である。

(10/8 大統領府公式サイト)

●スティエパン・メシッチ・クロアチア元大統領と会談(10/8)

両者は、バルカン半島の発展や国際的・地域的な安全強化に関連する事項について協議を行った。

(10/8 大統領府公式サイト)

【経済】

【対外経済】

●2019年1月～7月、ベラルーシのドイツへのハイテク製品輸出額、昨年対比16%増加。

(10/11 ベラパン通信)

●ロシア農業管理局、ベラルーシ企業2社への制裁を解除

同局は、スルツクチーズ製造工場に対する牛乳、乳製品輸出、グルボクスキー牛乳工場の脱脂粉乳等乳製品輸出に関わる制限を解除した。

(10/10 ベラパン通信)

●世銀、ベラルーシ経済成長の鈍化を予測

世銀は、欧州・中央アジアの経済状況に関する10月レポートで、ベラルーシ経済成長率が、2019年:1.5%、2020年:1.3%、2021年:1/2%と鈍化予測となることを発表した。また、経済成長率ランキングにおいては、欧州中央アジアに含まれる24カ国中、ベラルーシは22位に位置すると発表した。なお、23位はロシア、24位はトルコである。

(10/10 ベラパン通信)

●ベラルーシ・石油分野コンツェルン・ベルネフチェヒム、ウクライナへの石油供給を増やす意向。

ブナコフ同コンツェルン副会長は、ウクライナ市場向けに供給を拡大できる可能性があり、条件につき協議段階にあると発表した。

(10/10 ベラパン通信)

【国内経済】

●ベラルーシ国内にIT専門の大学「ハイテク大学」の設置検討

トウルチン第一副首相は、“ベラルーシ1”の番組内で『ハイテク大学』は、最高レベルの専門家を育成する試みである。当初は180名ほどの高校卒業生を迎え入れる予定である。世界経済は、ITの影響を受けて、新しい形態となっている。伝統的な資源や仕組みを用いず、多額の収入を生む新しい事業分野が生まれている。ここで大切になるのが人的リソースである。ベラルーシは、旧ソ連圏において人材の宝庫として知られてきた。しかし、新しい条件において、今後と同様のステータスを維持するには、これまでとは全く異なる方法が必要となる。デジタル社会への移行と新たな経済の創出には、これまでとは異なる専門家が必要となる。」と発言した。

(10/14 ベラパン通信)

●ベラルーシの2019年1月～9月のインフレ率3.4%
分類別のインフレ率は以下の通り。

食品:2.2%

非食品:3.2%

サービス:5.8%

なお、昨年9月対比のインフレ率は5.3%であった。

(10/11 ベラパン通信)

●国際展示会「Energy Expo」の開催(10/8-11)

カランケヴィッチ・ベラルーシエネルギー大臣は、本展示会に合計16カ国から300以上もの企業が参加したと発表した。本展示会は今年で24回目を迎え、約20のイベントが開催される予定である。

(10/8 ベラパン通信)

治安・軍事

●2019年1月～9月でベラルーシから強制送還、追放された外国人数は、1844名

内務省の発表によると、強制送還数は786件、追放数は1058件、合計1844名が強制送還、追放された。

(10/8 ベラパン通信)

(了)